

ARS

アルス(ARS)とはラテン語で、ARTの源である。つまり、熟練、技術、学術、芸術、知識、学、原理…といったような意味をもつ。新潟工業短期大学を設置する学校法人は新潟科学技術学園と称すが、そこにいう「技術」の源流はまさしくアルスに求められなければならない。本学は単なる技術屋の養成ではなく、技術と知識と心が一体となって、アルスの領域にまで高められるそういった人間を生み出そうと指向している。



ご挨拶



新潟工業短期大学後援会
会長 西村 俊男
(文信堂書店 会長)

令和元年度後援会会長を務めさせていただきました西村でございます。

後援会員の皆様には、日頃から本会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本会では、新潟工業短期大学の教育目的を達成し、その発展に寄与することを目的に、在学生の保護者の皆様をはじめ、教職員や本会の趣旨に賛同する方々のお力添えにより、各種の後援事業を行っております。学生の皆さんにとって、勉学に励むことはもちろんですが、課外活動や学友会活動を積極的

に行うことは、正課の授業だけでは得られないものを補うという点からも非常に大切なことです。本会は、積極的かつ効果的な後援事業により学生が充実した大学生活を送れるよう、今後とも大学と連携しながら取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと同様にご指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

ご挨拶



新潟工業短期大学学長
長谷川 富市
(後援会顧問)

青空に入道雲が湧き立ち夏本番となりました。後援会の皆様ご健勝にお過ごしでいらっしゃいますか。本学は1学期定期試験の時期を迎えております。さて、本学の昨年度卒業生の自動車整備士国家試験合格率は、2級ガソリン95.9(87.3)％、同ジーゼル100(93.4)％、1級小型100(49.3)％(括弧内数字は全国平均)で全て全国平均を上回りました。また、就職率は5年連続で100％でした。このような結果は学生諸君の熱心な勉学と先生方の「愛情と情熱をもってしっかり教育をする」という教育方針の成果であると思っております。本年度は留学生が大幅に入学しま

しました。入学者119名のうち留学生は54名、出身地はモンゴル、中国、韓国、ベトナム、バングラデシュ、スリランカ、マレーシア、ウズベキスタン、カメルーンと国際性に富んでおり、新潟の地で一所懸命勉学に励んでおります。後援会におかれましては、本年度も、キャリア形成のための工場見学、学友会活動・部活動・その他課外活動、国家資格取得、等にご支援を戴くこととなっております。ここに深く感謝致しますとともに今後ともご支援の程宜しく願い申し上げます。 2019年8月

令和元年度後援会役員名簿 (敬称略)

会長	西村 俊男	賛助会員 (株)文信堂書店 会長
副会長	鎌田 元	父母会員
2年生評議員	鎌田 元	父母会員
	古山 和彦	父母会員
1年生評議員	家後 和也	父母会員
	佐々木有希子	父母会員
監事	石黒 健一	賛助会員 (株)ニイガタ文具 社長
	高野 剛	教授
幹事長	鈴木 真人	教授
幹事	川崎 信隆	講師
	太田 卓馬	事務長
顧問	長谷川 富市	学長

MESSAGE

新年度も、あっという間に前期の授業が終わりましたね。1年生は6ヶ月、2年生は18ヶ月ほど勉強を続けて、エンジニア(自動車整備士、あるいは電子制御技術者)としての「自覚症状」は出てきましたか。私が高専で専門教育を学び始めて2年目のころ、とある先生がおっしゃいました。「君たちはエンジニアとして学び始めた。もう一般人には戻れない。」クラスメート一同(°д°)ホカン それでも先生は続けます。「なんでもかんでも、ついエンジニア目線で考えてしまうようになったら、それはもう職業病だ。一生治らんど。」



自動車工業科
教授 脇田 喜之

先生曰く、学んだ年数でもなく、成績の良し悪しでもなく、四六時中「熱が出ているか」だそうです。「寝ている時も、お風呂に入っている時も、トイレに座っている時でも、ところかまわずフルマや電子制御の事を考えて知恵熱が出てしまうようなら、もう心配はいらない、自信を持って取り組みなさい。」先生はそう締めくくりました。(もちろん実話です。) さあ皆さん、自覚症状は出てきましたか。

2年生へ 自動車技術コース 二級自動車整備士資格合格にむけて

整備技術講習が始まります

二級自動車整備士国家試験はガソリンとジーゼルそれぞれに学科試験と実技試験があります。実技試験免除となる整備技術講習は、卒業見込みの方を対象に卒業の半年前から行うため、後期授業開始前から始まり、ガソリンとジーゼルの2つが行われます。今年度も後期の授業スタート前の9月19日から技術講習が始まります。国家試験対策の模試期間を含めると、3月20日迄の半年間となりますので、怪我や病気に十分注意され、整備士資格を取得せずに就職することのないよう、後期は明確な目標を持って取り組んでいただきたいと思います。

昨年度の整備技術講習修了率
ガソリン96.1% ジーゼル86.8%

学科試験の合格率
ガソリン95.9% ジーゼル100.0%

〈整備技術講習〉
ガソリン：9/19(木)～11/23(土)
ジーゼル：11/27(水)～1/30(木)

〈国家試験学科試験対策 模試期間〉
ガソリン：1月上旬～3/20(金)
ジーゼル：2月上旬～3/20(金)

〈国家試験(学科)〉
試験日：令和2年3月22日(日)
(会場：新潟工業短期大学・2号棟)

1年生へ 進路確定にむけて

短期大学では、2年に進級するとすぐに就職活動が本格化するため、今から進路の目標を定め、意識を高めて自立する準備を始めることが重要です。近年の進路確定率は、おかげさまで5年連続100%を達成することが出来ました。しかし、油断は禁物です。就職においては、成績は勿論のこと、企業が求める『学生と社会人の違い』、『あたりまえの常識』、『挨拶・礼儀・言葉づかい』が必要になります。日常生活におけるアドバイスなど、保護者の皆様からのご協力をお願いいたします。また、進学では、本学には一級自動車整備士資格の取得が可能な2年制の専攻科があります。資格取得には途切れない学習が効果的です。ぜひ、ご検討ください。本年度は少子化に伴い留学生が多数入学しました。広報・就職支援センターにおいてはこれからも全学生が進路確定できるよう産学連携室とも協力しながら進路指導を行って参りますので、保護者の皆様のご協力もお願いいたします。

〈広報・就職支援センター〉

電子制御コース 電子制御関連の国家技能検定について

電子制御コースが開設されてから、これまで2度の卒業生を社会に送り出してきました。本コースの学生は、工場の自動生産装置を整備する機械保全技能士(電気系保全作業)と、その制御装置をプログラムする電気機器組立て技能士(シーケンス制御作業)の取得を目指して学習しています。機械保全は6月末に実技試験、7月上旬に学科試験が行われ、2年生になり4～6月のわずか3ヶ月でトレーニングを行ううえに、就職活動とも重なるので、学生にとっては苦勞の多い時期となります。一方、電気機器組立ては1月下旬に学科試験、2月上旬に実技試験が行われるため、比較的じっくりとトレーニングを行えますが、定期試験と重なる時期のため、やはり学生にとっては本学最後の難関であると言えます。いずれも心身に負担の多い時期です。体調にも気を配って取り組んで頂きたいと思っております。

〈電子制御コース主任〉

資格取得率(平成29～30年度卒業生)
機械保全(電気系保全作業)……………38.1%
電気機器組立て(シーケンス制御作業)……………46.2%

SCHEDULE 令和元年度 行事

- 4/5～4/9 ●入学式・オリエンテーション
- 4/9 ●工場見学(スバル)(1年)
- 4/10～8/2 ●前期授業
- 4/25 ●交通安全講習会(1年)
- 4/26 ●第1回留学生交流会
- 5/23 ●スマートフォン等利用マナー講習会(1年)
- 5/28 ●自動車技術セミナー(スバル)(1年)
- 6/4 ●トムス・セミナー(1年)
- 6/11 ●自動車技術セミナー(日産)(1年)
- 6/14 ●創立記念日
- 6/16 ●中古自動車査定士技能検定試験(2年)
- 6/18 ●自動車技術セミナー(マツダ)(1年)
- 6/28 ●自動車技術セミナー(三菱)(1年)
- 6/29～6/30 ●3級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 7/11 ●NGKスパークプラグ講習会(2年)
- 8/5～8/9 ●前期定期試験
- 8/9 ●第2回留学生交流会
- 8/10～8/31 ●夏期休業
- 8/27～8/29 ●損害保険募集人資格講習&試験(2年)
- 9/10～9/11 ●ガス溶接技能講習会(1年)
- 9/19～1/30 ●二級自動車整備士技能講習会(2年・自動車技術コース)
- 9/30～1/31 ●後期授業
- 10/1 ●工場見学(県内整備系企業)(1年)
- 10/1 ●工場見学(県内製造系企業)(1年)
- 11/16 ●明日へのテクノロジーセミナー(公開講座)
- 12/25～1/6 ●冬期休業
- 1/1 ●整備士資格試験対策講習(2年・自動車技術コース)
- 1/1 ●3級電気機器組立て技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/3～2/7 ●後期定期試験
- 2/1 ●2級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/1 ●低圧電気取扱従事者特別教育 講習会(1年)
- 2/13 ●合同企業説明会(1年)
- 2/19 ●スキーツアー
- 3/18 ●卒業式
- 3/19～ ●春期休業
- 3/22 ●二級自動車整備士登録試験(2年・自動車技術コース)

SCHOOL LIFE 学生生活紹介



ミツビシ急勾配体験



トムス講演会



建設機械講習



自動車実習



スキーツアー



卒業式



学内車検



NEWS 開学50周年



本学は、昭和43年(1968年)に北都工業短期大学(昭和57年に新潟工業短期大学に名称変更)として開学以来、多くの皆様のおかげで平成30年に創立50周年を迎えることができました。お礼申し上げます。平成30年11月10日にはアートホテル新潟駅前において創立50周年記念式典・祝賀会を開催し、来賓、OB、関係者など230名の方々にご参加いただき、盛大にお祝いをすることができました。また、同年12月に本学1号棟前に記念碑を建てました。お越しの際は、ぜひご覧ください。

後援会活動および報告

令和元年度後援会評議員会が8月28日に本学で開催され、前年度決算および本年度活動方針、予算などが了承されました。本年度もこれまでと同様に学生のための課外活動援助や厚生補導活動援助を中心に積極的支援に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、後援会活動状況および新潟工業短期大学と新潟科学技術学園の情報については次のホームページからもご覧いただけます。

- 〈新潟工業短期大学後援会に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/parents/supporters/#p1>
- 〈新潟工業短期大学の教育に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/>
- 〈新潟科学技術学園の財務に関する情報〉 <http://www.niigata-inst-st.ac.jp/info/zaimu.html>



学校法人新潟科学技術学園
新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

編集発行：新潟工業短期大学後援会
〒950-2076 新潟市西区上新栄町5-13-7
TEL 025-269-3174(代)
FAX 025-268-1222
URL <http://www.niigata-ct.ac.jp/>